

構造色に関する新規材料の研究 (日本印刷学会研究発表奨励賞)

■構造色とは

構造色は、微細粒子の配列構造に光が反射することで発色するものであり、一般的な色素による発色と異なり、独特の光沢や見る角度によって色彩が変化する特徴を有する（図1参照）。

■研究内容

構造色の発色に影響を与えるメラニンに着目し、化学的に合成した視認性の高い構造色を示す人工メラニン粒子を作製し、見る角度で色彩変化の有無を制御する研究（人工メラニン粒子の配列は図2参照）

■期待される活用方法

（例）偽造防止インク

構造色の発色は、一般的なインク等では再現が困難であるため、構造色を有するインクを用いることにより、**目視で真偽判別することが可能**となる。

